

令和 6 年度 前期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

目 次

- 1 はじめに
- 2 全体の概要
- 3 全体の集計結果
- 4 対象となる授業一覧
- 5 資料
 - 5－1 授業評価票（別紙 1）
 - 5－2 自己点検レポート（サンプル）（別紙 2）

1 はじめに

本報告書は、令和6年度 前期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。非常勤講師を含めた全教員の担当科目を対象に授業評価を行った。

授業評価アンケートは、オンライン上で実施することとし、Google フォームを利用したアンケート作成と、G Suite 上 classroom を利用してのアンケート配信を実施した。個々の授業科目ごとのデータ処理は Google フォームアンケートの機能を利用し、全体の集計は、個々のエクセルデータを統括し算出した。

今年度の授業評価アンケートは、調査項目の見直しを行い次のように変更した。総項目数は昨年度同様の13項目、新規項目として「興味・関心」「到達目標」「満足度」を追加し、「創意工夫」「授業時間」「薦めるか」を削除した。

専任教員による実施状況は、アンケート調査及び自己点検レポート作成において一定の作業効率を円滑に行うことができた。一方、非常勤講師においては、円滑な実施ができた教員と本委員のサポートの中で実施した教員と別れる結果となった。一定の作業システムの認知は3年目を迎えるにあたり、効果があるものの共有データ複製が上手く実行できないこともあり、今後も何らかの対応策を講じる必要があるものと思われる。学生へのアンケート調査において、ペーパーレス化を試み、Google フォームアンケート機能の活用に展開しているが、回答率が紙媒体より低下している点は検討を講じる必要がある。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成20年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的

本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学習に対する意欲、課外学習の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクシ

ョンとの 2 部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

個々の授業別結果は、回答後すぐにグラフ化されたデータを見ることが可能となり、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。全体のデータは、個々のデータをまとめた集計結果を算出し、各授業の各項目について、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出(サンプルは別紙 3)する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを 200 字程度のレポートにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の点について自己点検することになっている。

- 1 前回と比較して、今回の授業評価結果について分析し、その結果を踏まえて、今後の授業改善に向けての具体的な取り組みを記入してください。
- 2 シラバスに記載された学修到達目標に対する学生の到達度の状況を記入してください。
- 3 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題及び、今回の授業評価の実施方法等に関する意見。

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物として学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

3 全体の集計結果

令和 6 年度前期の授業評価の全体の結果は、いずれの設問でも肯定的な 1・2 の回答が 89%以上を占めており、総体として評価は高いと言える。調査表件数は 2104 件である。

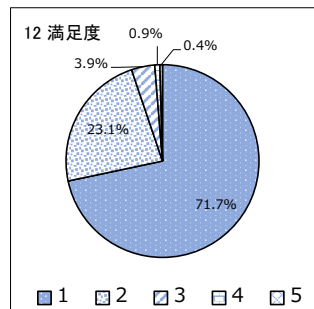
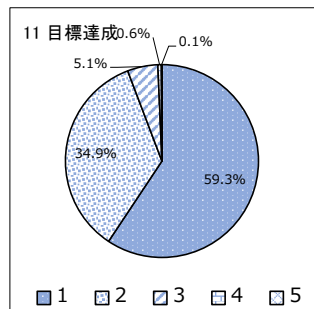
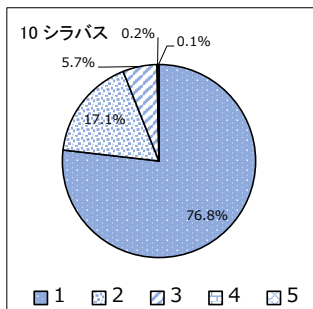
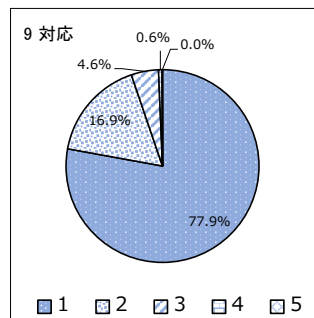
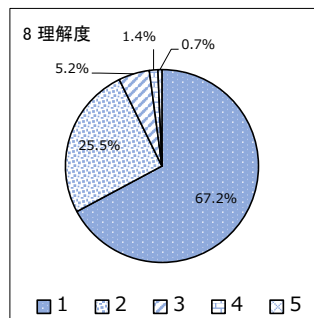
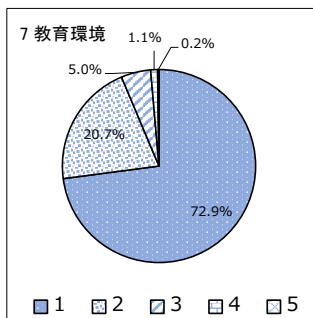
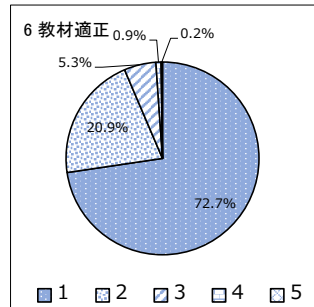
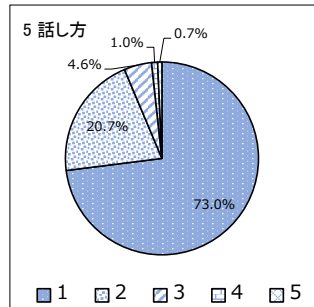
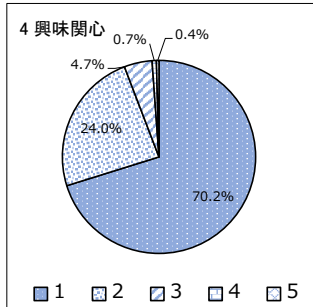
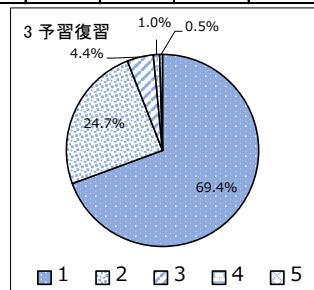
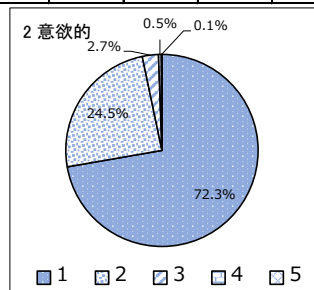
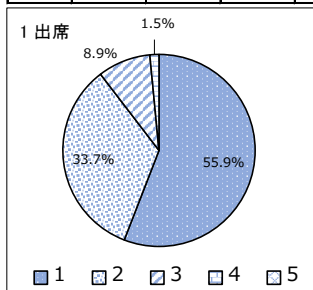
肯定的な 1 の回答が 70%代として、高かったのは「意欲的」「興味・関心」「話し方」「教材適正」「教育

環境」「対応」「シラバス」「満足度」であり、次いで「予習復習」「理解度」が60%代となった。特に「対応」の評価が高かったことから修学環境において本学の特色である少人数制の取り組みに効果があると推測する。一方、「出席」を除く肯定的な1の回答が59.3%として、最も低かったのは新規の「目標達成」であり、修学の目標の一つとしてやや検討の必要な要素となった。また、「出席」設問を除く、11の設問すべてに中庸な3の回答を含め否定的な4・5の回答が少数であるが存在している。特に率にして高いのは「理解度」であり、3～5の回答が全体の約7.3%(153件)の数値となった。前年度の「理解度」における同内容が9.1%であったことを比較すると状況は改善している。だが1割弱程度の学生において理解度が欠けている可能性があると考えられる。今後、各科目において「対応」の良さを生かしながら修学状態を図るコミュニケーションが求められる。

まとめ

調査票件数: 2104

選択肢	1 出席	2 意欲的	3 予習復習	4 興味関心	5 話し方	6 教材適正	7 教育環境	8 理解度	9 対応	10 シラバス	11 目標達成	12 満足度
1	1176	1516	1460	1471	1530	1525	1529	1410	1636	1611	1224	1503
2	709	513	519	503	433	439	435	536	355	359	720	485
3	187	57	93	98	97	112	104	109	96	120	105	82
4	32	10	22	15	21	18	24	30	13	4	12	18
5	0	2	10	9	15	5	5	14	1	3	2	9
	2104	2098	2104	2096	2096	2099	2097	2099	2101	2097	2063	2097



4 対象となる授業一覧

〈令和6年度前期 授業評価調査のための授業科目番号一覧〉

科目番号	講義名	担当教員	提出	学科
基礎科目				
1001	倉敷学	全教員	○	保育・服飾美術
1003	国語表現	全	○	保育・服飾美術
1007	数学	大原	○	保育・服飾美術
1009	経済学入門	田鹿	○	保育
1010	経営学入門	岩崎	○	保育
1011	キャリアデザイン	前田	○	保育・服飾美術
1012	情報機器の操作 I	大原	○	保育
1014	情報処理演習 I	大原	○	服飾美術
1016	英語 I (コミュニケーション)	松浦	○	保育・服飾美術
1019	英語Ⅲ	松浦	○	保育・服飾美術
1021	フランス語 I	石井	○	服飾美術
保育学科				
2001	保育原理	小久保	○	保育
2003	子ども家庭福祉	宮崎	○	保育
2004	社会福祉	宮崎	○	保育
2007	保育者論	小久保	○	保育
2009	発達心理学 I	長櫓	○	保育
2012	子どもの保健	平岡	○	保育
2016	幼児教育課程論	木戸	○	保育
2017	保育方法技術論	太田	○	保育
2018	保育内容総論	馬場	○	保育
2023	表現の指導法	別府・濱田・児玉	○	保育
2028	幼児と健康	濱田・平岡	○	保育
2029	幼児と人間関係	木戸	○	保育
2030	幼児と環境	大江	○	保育

2031	幼児と言葉	浅野	○	保育
2048	幼児と歌唱表現Ⅱ	三川	○	保育
2049	幼児と造形表現	児玉	○	保育
2050	幼児と身体表現	濱田	○	保育
2053	乳児保育Ⅱ	三好	○	保育
2056	社会的養護Ⅱ	宮崎	○	保育
2058	保育実習Ⅰ（Ⅰ）	木戸・大江	○	保育
2060	保育実習Ⅱ	木戸・大江	○	保育
2061	保育実習Ⅲ	宮崎・長櫓	○	保育
2063	保育実習法Ⅰ	木戸	○	保育
2064	保育実習法Ⅱ	木戸・植山	○	保育
2065	保育実習法Ⅲ	宮崎・長櫓	○	保育
2067	教育実習法	小久保	○	保育
服飾美術学科				
3001	生活デザイン総論	服飾美術学科全教員	○	服飾美術
3003	服飾文化史	宇野	○	服飾美術
3004	服飾造形論	乾	○	服飾美術
3005	服飾造形実習Ⅰ 乾	乾	○	服飾美術
3006	服飾造形実習Ⅰ 武永	武永	○	服飾美術
3009	服飾造形実習Ⅲ	武永	○	服飾美術
3013	パターンメイキング（CAD）Ⅱ	乾	○	服飾美術
3014	デニム学	武永	○	服飾美術
3015	デニム学演習	武永	○	服飾美術
3017	服飾管理学	佐藤（希）	○	服飾美術
3018	服飾管理学実験	佐藤（希）・道明	○	服飾美術
3019	染色加工学	古濱	○	服飾美術
3020	服飾繊維学	道明	○	服飾美術
3021	服飾繊維学実験	道明	○	服飾美術
3024	服飾人間環境学	佐藤（希）	○	服飾美術
3026	服飾人間工学	佐藤（希）	○	服飾美術
1009	経済学入門	田鹿	○	服飾美術

1010	経営学入門	岩崎	○	服飾美術
3030	法学入門	岡邑	○	服飾美術
3034	ファッションビジネス	岩崎	○	服飾美術
3036	消費者調査法	岩崎	○	服飾美術
3040	経済政策論	田鹿	○	服飾美術
3042	アート造形技法演習Ⅰ	趙	○	服飾美術
3043	アート造形技法演習Ⅱ	趙	○	服飾美術
3044	モードデッサンⅠ	趙	○	服飾美術
3047	テキスタイルデザインⅠ	田中	○	服飾美術
3048	テキスタイルデザインⅡ	田中	○	服飾美術
3049	CG基礎演習	竹島	○	服飾美術
3050	クリエイション論	上村	○	服飾美術
3052	ライフスタイルプロジェクト演習	上村	○	服飾美術
3055	カラーコーディネート論	高橋（俊）	○	服飾美術
3056	染織Ⅰ	田中	○	服飾美術
3059	ビジュアルデザインⅠ	ウォルトン	○	服飾美術
3060	ビジュアルデザインⅡ	竹島	○	服飾美術
3063	基礎デッサン	野村	○	服飾美術
3064	人体デッサン	野村	○	服飾美術
3066	店舗空間演出演習	松内	○	服飾美術
3068	基礎デザイン	松内	○	服飾美術
3069	空間デザイン演習	松内	○	服飾美術
3070	インターンシップⅠ	服飾美術学科全教員	○	服飾美術
専攻科・関連科目				
4001	情報処理論	大原	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4002	国語表現法演習	山根	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4003	スポーツⅠ	濱田	○	保育臨床専攻
4006	造形表現論	松内	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4007	立体制作論	松内	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4008	品質管理	古濱	○	服飾美術専攻
4011	ビジュアルデザイン論	片山	○	服飾美術専攻

4013	ドローイングⅠ	野村	○	服飾美術専攻
保育臨床専攻				
5001	幼児の音楽遊び演習Ⅰ	三川	○	保育臨床専攻
5003	幼児の造形遊び演習	児玉	○	保育臨床専攻
5009	造形指導法特別演習Ⅱ	児玉	○	保育臨床専攻
5012	教育の思想と歴史	小久保	○	保育臨床専攻
5014	特別支援教育特論	眞次	○	保育臨床専攻
5015	子どもの人権教育論	小久保	○	保育臨床専攻
5016	発達心理学特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5017	教育相談特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5021	幼児の国際理解演習	松浦	○	保育臨床専攻
5023	児童福祉特論	宮崎	○	保育臨床専攻
5024	乳児保育特論	平岡	○	保育臨床専攻
5029	子育て支援特論	眞次	○	保育臨床専攻
服飾美術専攻				
6005	服飾造形実技Ⅱ	乾	○	服飾美術専攻
6009	被服心理学	乾	○	服飾美術専攻
6017	地域活性化論	大橋		服飾美術専攻
6020	マーケティングコミュニケーション論	岩崎	○	服飾美術専攻
6021	アパレル経営論	岩崎	○	服飾美術専攻
6024	アート演習Ⅰ	趙	○	服飾美術専攻
6025	アート演習Ⅱ	趙	○	服飾美術専攻
6027	テキスタイルデザイン演習Ⅰ	田中	○	服飾美術専攻
6028	テキスタイルデザイン演習Ⅱ	田中	○	服飾美術専攻
6032	ライフプロダクト論	上村	○	服飾美術専攻
6034	ライフプロダクト演習Ⅱ	上村	○	服飾美術専攻
6035	空間演出演習	松内	○	服飾美術専攻
6036	産業研修Ⅰ	服飾美術学科全教員	○	服飾美術専攻

5－1 授業評価票（別紙 1）

2025 前期 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生みなさんの学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的としています。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。なお、回答はすべて統計的に処理され、プライバシーが損なわれたり、本学での生活に不利益が生じたりすることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・ 授業評価への回答は、5～10分で終わります。
- ・ 授業評価への回答は自由意思によります。回答しなくとも不利益を被ることはありません。
- ・ 無記名でメールアドレスの収集もしないため、個人が特定されることは一切ありません。
- ・ 結果の管理は厳重に行い、保管する必要がなくなった時点で完全に破棄します。
- ・ 集計結果は、学内向けに公表する予定です。

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

授業科目名：○○○○

科目番号：○○○○

回答期限：令和・年・月・日（ ）まで

(1) あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 欠席しなかった
2. 1～2回欠席した
3. 3～4回欠席した
4. 5回以上欠席した

(2) あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 意欲的に取り組んだ
2. どちらかというと、意欲的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、意欲的に取り組まなかった

5. 意欲的に取り組まなかった

(3) あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 積極的に取り組んだ
2. どちらかという、積極的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかという、積極的に取り組まなかった
5. 積極的に取り組まなかった

(4) あなたは、授業を受けてみて、この分野への興味・関心が深まりましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 興味・関心が深まった
2. どちらかという、興味・関心が深まった
3. どちらともいえない
4. どちらかという、興味・関心が深まらなかった
5. 興味・関心が深まらなかった

(5) 教員の話し方は、明瞭でわかりやすいものでしたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切だった
2. どちらかという、適切だった
3. どちらともいえない
4. どちらかという、適切ではなかった
5. 適切ではなかった

(6) 使用テキスト、副教材（資料プリント等を含む）は、適切だと思いましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切だった
2. どちらかという、適切だった
3. どちらともいえない

4. どちらかという、不適切だった

5. 不適切だった

(7) 授業を行う上での機器や機材等の教育的環境は、満足できるものでしたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 満足できた

2. どちらかという、満足できた

3. どちらともいえない

4. どちらかという、満足できなかった

5. 満足できなかった

(8) 授業の内容は、わかりやすく理解しやすかったですか。

(1 つだけマークしてください。)

1. わかりやすく理解しやすかった

2. どちらかという、わかりやすく理解しやすかった

3. どちらともいえない

4. どちらかという、わかりにくく理解しにくかった

5. わかりにくく理解しにくかった

(9) 教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切に対応してくれた

2. どちらかという、適切に対応してくれた

3. どちらともいえない

4. どちらかという、不適切な対応だった

5. 不適切な対応が多かった

(10) シラバスに基づいて授業を展開しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. シラバスに基づいて展開した

2. どちらかという、シラバスに基づいて展開した

3. どちらともいえない

4. どちらかというと、シラバスに基づいての展開ではなかった
5. シラバスに基づいての展開ではなかった

(11) あなたは、シラバスに記載されているこの授業の到達目標を達成できましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 達成できた
2. ある程度達成できた
3. どちらともいえない
4. あまり達成できなかった
5. 達成できなかった

(12) あなたは、総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 満足した
2. どちらかというと、満足した
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、満足していない
5. まったく、満足していない

・その他、気づいたことがあれば、自由に書いてください。

5-2 「自己点検レポート」(サンプル)(別紙2)

令和6年度 前期授業評価：自己点検レポート		
		担当教員氏名〔 〕
学科・専攻名〔 〕	学科／	専攻〔 〕
授業評価 科目名〔 〕	授業番号〔 〕	
* 提出期限：データ・紙媒体 <u>令和6年10月4日(金)</u>		
提出について(データファイルと紙媒体の両方)		
・データファイル：		
提出先：令和6年度大学活動推進委員会の指定したグーグルドライブ先へ格納(依頼書をご参照いただき、word ファイルで提出)		
提出内容：ファイル名「授業自己点検 rep」の前に「 <u>授業番号・氏名・教科名</u> 」をつけてください。		
・紙媒体：印刷したレポートの1部を事務局においてある提出箱に入れてください。		
※ 字数：1については <u>200字程度</u> (必ず記入)，2については <u>100字程度</u> (必ず記入)，3は制限なし。		
※ 複数ページになる場合には，印刷は <u>両面印刷</u> としてください。		
1. 前回と比較して，今回の授業評価結果について分析し，その結果を踏まえて，今後の授業改善に向けての具体的な取り組みを記入してください。		
2. シラバスに記載された学修到達目標に対する学生の到達度の状況を記入してください。		
3. 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題及び，今回の授業評価の実施方法等に関する意見		

2025 年 10 月 3 日

倉敷市立短期大学 令和 7 年度 大学活動推進委員会

保育学科 : 松浦 加寿子, 宮崎 正宇

服飾美術学科 : 趙 採沃, 上村 晴彦, 田中 孝明

事務局 : 清水 綾子

編集担当 : 田中 孝明, 松浦 加寿子